

情報セキュリティ基本方針

株式会社 SAWADA にとって、お客様よりお預かりした緑茶葉の流通に特化した倉庫保管・管理、当社の提供する物流サービス及びそれらに付帯する当社の事業活動において、情報セキュリティ事故を未然に防止することは、社会的な責務である。

経営戦略に沿った情報セキュリティを実現すると共に、販売情報・顧客情報や仕入に関する情報などお客様の情報資産を正確かつ安全に取り扱い、社会やお客様の信頼に応えていくものとする。

1. 当社は、以下のセキュリティ目的を設定し、この目的を達成するための諸施策を確実に実施する。
2. 当社は、情報セキュリティに対する当社の取り組みに関する経営陣の意思を表明し、それに基づく主な行動指針を明確にすることにより、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を適切に構築・運用し、重要な情報資産の機密性、完全性、可用性の確保に努め、その有効性を継続的に確保する。
3. 当社は、ISMS の運営のために情報セキュリティ管理責任者と情報セキュリティ委員会を設置する。また、各部門に ISMS を適切に運用するために必要な組織体制を整備する。
4. 当社は取り扱うすべての重要な情報資産のリスクを受容可能な水準に保つため、リスクアセスメントに関する体系的な手順と評価基準を定め、リスクアセスメントに基づく適切なリスク対策を講じる。
5. 当社は、お客様との契約及び法的または規制要求事項を尊重し、遵守する。
6. 当社は、ISMS の維持向上のため全社員に対して定期的に教育を実施し、効果を測定する。
7. 本規程の適用範囲は「ISMS 適用範囲」において別途定める。

制定日：2008年11月18日

改訂日：2011年 8月 2日

株式会社 SAWADA

代表取締役 沢田 英之